

為替市場

	Open	High	Low	Close	Change	
USD/TWD	31.530	31.575	31.500	31.550	-0.010	(-0.0%)
USD/JPY	155.95	156.30	154.06	154.40	-1.480	(-0.9%)
JPY/TWD	0.2024	0.2044	0.2019	0.2040	+0.0017	(+0.8%)
EUR/USD	1.1911	1.1929	1.1887	1.1895	-0.0021	(-0.2%)
USD/CNH	6.9165	6.9187	6.9050	6.9145	-0.0013	(-0.0%)

株式/商品市場

	Close	Change		Close	Change
台湾加権指数	33,072.97	+668.35 (+2.1%)	ダウ平均	50,188.14	+52.27 (+0.1%)
日経平均	57,650.54	+1286.60 (+2.3%)	S&P 500	6,941.81	-23.01 (-0.3%)
TOPIX	3,855.28	+71.71 (+1.9%)	WTI	63.96	-0.40 (-0.6%)
上海総合	4,128.37	+5.28 (+0.1%)	Brent	68.80	-0.24 (-0.3%)
DAX	24,987.85	-27.02 (-0.1%)	金	5,003.80	-47.10 (-0.9%)

債券市場

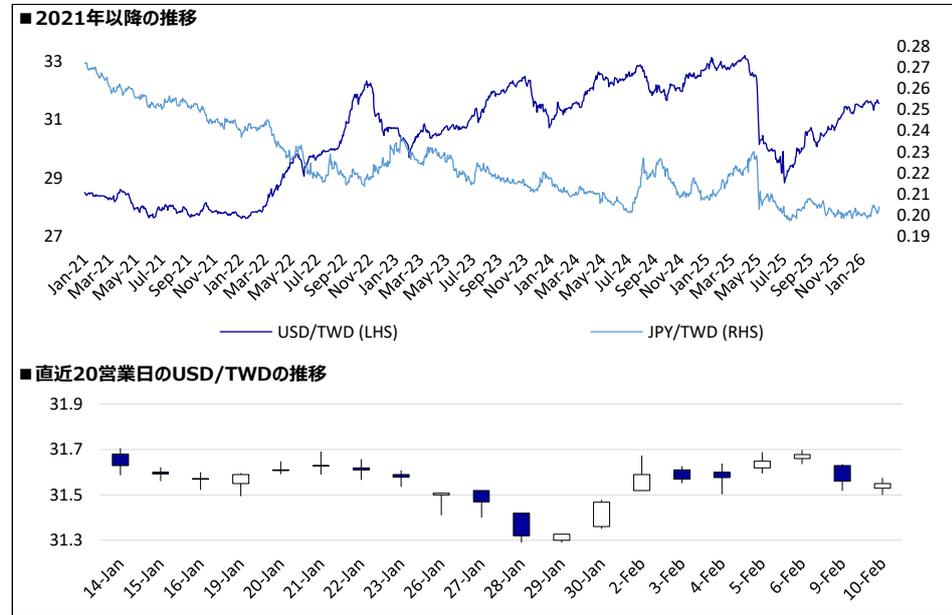
	2年債		5年債		10年債	
台湾国債利回り	1.21%	(-1.0bp)	1.35%	(+2.0bp)	1.44%	(+2.0bp)
日本国債利回り	1.31%	(-0.8bp)	1.70%	(-3.7bp)	2.24%	(-5.4bp)
ドイツ国債利回り	2.05%	(-0.9bp)	2.38%	(-2.4bp)	2.80%	(-3.5bp)
米国債利回り	3.45%	(-2.9bp)	3.70%	(-4.4bp)	4.15%	(-5.3bp)

前日の市場動向

■USD/TWD
昨日のUSD/TWDはほぼ横ばい。31.530でオープン後、台湾1月輸出統計が前年比69.9%高となる結果が発表され、更に米株の反発と伴った台湾株式市場の上昇を受け、台湾ドル買いが入り、一時31.500まで下落。午後には、台湾株式市場が高値引け、外資による買い越しで資金流入があったものの、生保によるドル買いが強く、31.500付近で狭いレンジで推移。最終的に31.550、前日とほぼ変わらずクローズ。株式市場における外資の買い越し額は557.1億台湾ドル。

■USD/JPY
昨日のUSD/JPYは下落展開。155.95でオープン。特段新規材料も見当たらない中、衆院選前に積み上げられた円売りポジションの巻き戻しが入って155円台前半まで下落。海外時間には朝方発表された米第4半期雇用コスト指数、並びに米12月小売売上高が市場予想を下回る内容となったことを受けて、米金利低下が加速するとドル売り圧力が一段と強まる展開となり一時154.06まで下落した。最終的には155.88、前日比0.9%安でクローズ。

台湾ドルの推移



本日の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.450-31.600
本日のUSD/TWDはレンジ内で推移を予想。米金利が低下したことでドル売り圧力が強まる可能性がある。一方で、今日は台湾株式市場の春節前最後の取引日であり、市場は閑散として明確な方向感がない可能性がある。

■USD/JPY 予想レンジ：153.00-154.50
本日のUSD/JPYは軟調な推移を予想。米経済指標が予想を下回ったことで、ドルの重しになる可能性がある。市場は発表予定の米雇用統計に注目。

今週の予定

2/9 (MON)	米国・日本・台湾1月製造業PMI、台湾1月輸出入貿易統計
2/10 (TUE)	米12月小売売上高、輸出入物価指数
2/11 (WED)	米1月非農業部門雇用統計
2/12 (THU)	米新規失業金申請件数、1月住宅販売件数
2/13 (FRI)	米1月CPI、台湾第4四半期GDP

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。